

市立中央図書館では、第二十七回「大館市民読書感想文コンクール」の作品を募集しています。

恒例のこのコンクールですが、ここ数年は「最優秀作」が出ていません。「われこそは…」と思われるかたはいらっしゃいませんか。皆さんの力作をお待ちしています。

### 応募資格

高校生以上の市民



### 課題図書

- ① 「ねじれた絆」 奥野修司著 新潮社
- ② 「燃えさかる薪」 曾野綾子著 中央公論社
- ③ 「清輝君が見た闇」 豊田充著 大海社
- ④ 「銀河鉄道の夜」 宮沢賢治著 角川文庫ほか

※課題図書以外からも自由に選択

## 第27回

# 大館市民 読書感想文コンクール

## 作品募集中

して構いません。ただし、応募は未発表のもの1人1編に限ります。

### 原稿

400字詰め原稿用紙(縦書き)5枚以内とします。作品提出の際には、必ず別の原稿用紙に題名、住所、氏名、生年月日と満年齢、性別、職業または学校名と学年、電話番号、本の題名、編・著者名または訳者名、発行所名を記入し、作品の上に添付してください。なお、応募作品はお返ししません。

### 締め切り

9月20日(郵送の場合は必着)

### 賞

学生の部、一般の部それぞれの入賞者(最優秀作1点、優秀作2点、佳作6点)に賞状と賞金を贈呈します。また、応募いただいたかた全員に記念品を贈呈します。

### 入賞者発表

10月下旬

### 応募先

〒017大館市字谷地町13番地

中央図書館内  
第27回「大館市民読書感想文

コンクール」係

☎42-2525

## 市長リポート

No. 120



### ごみ処理の新技术を模索 廃棄物リサイクル対策室

大館市、比内町、田代町で構成する広域市町村圏組合が昭和五十七年度に建設した現在のごみ処理施設は、平成十二年度で更新時期を迎えます。

環境面や資源の有効活用といった観点からこれからのごみ処理を考えると、堆肥(コンポスト)化、固形燃料(RDF)化、リサイクルなどの手法が挙げられます。ただし、ごみ問題は五大プロジェクトに準ずるほど大規模なものです。そこで、市では九月一日付で企画部内に『廃棄物リサイクル対策室』を設置、将来に向けたごみ処理の基本計画を定めて、広域組合とともにこの問題に取り組んでいくことにしました。

リサイクルを基本とした新たなごみ処理。その具体的な取り組み例として、以下のようなことが考えられます。

①燃えにくい生ごみは燃やさずにもう一度土に戻してやる。このときにコンポスト化する手段をとっていただければ、農家の皆さんに良質な堆肥を提供することが可能になります。②紙や木などのごみはきっちりと分別していただいて、これを固形燃料化する。例えば、この固形燃料を公共施設等で活用すれば、暖房費を大幅に節減できます。③さらに、もしプラスチックや発泡スチロールの類を分別してリサイクルできたならば、これらを焼却処理した場合に引き起こされる大気汚染が防げるばかりでなく、原料である貴重な石油資源を守ることも可能です。

いずれの取り組みも市民の皆さんの協力なしには実現できないものです。一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、それがまとまれば大きな流れを創り出せるのです。今こそ、全市一丸となって頑張っていこうではありませんか。

小畑 元